

平成 23 年 10 月 20 日

【照会先】

大臣官房統計情報部社会統計課縦断調査室
室長 福元 俊成
室長補佐 吉川 英樹
(担当) 出生児調査第一係(内線7474)
(代表電話) 03(5253)1111
(直通電話) 03(3595)2413

第9回 21 世紀出生児縦断調査(平成 13 年出生児)の概況

目 次

	頁
調査の概要	1
結果の概要	
1 対象児の家庭・家族の状況	
(1) 母の就業状況	3
(2) 同居者構成別にみた母の就業状況	4
(3) 母が子どもと過ごす時間	5
(4) 子どもを育てていて負担に思うことや悩み	7
(5) 子どもを育てていてよかったと思うこと	9
(6) 子育て費用	11
2 対象児の生活の状況	
(1) 登校日の就寝時間	12
(2) 習い事等	13
(3) お手伝い	14
用語の定義	16

第9回 21 世紀出生児縦断調査(平成 13 年出生児)の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス (<http://www.mhlw.go.jp/toukei/index.html>)

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、平成 13 年度から実施している統計調査であり、21 世紀の初年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等の施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

2 調査の対象

全国の 2001 年（平成 13 年）1 月 10 日から同月 17 日の間及び同年 7 月 10 日から同月 17 日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

第 9 回調査における対象児の年齢は 9 歳（小学校 3 年生）である。

3 調査の時期

1 月生まれは平成 22 年 1 月 18 日、7 月生まれは平成 22 年 7 月 18 日とした。

（参考 第 1 回調査から第 6 回調査の 1 月生まれは 8 月 1 日、7 月生まれは 2 月 1 日である。）

4 調査事項

母の就業状況、子どもと一緒に過ごす時間、子どもを育てていて負担に思うことや悩み、子どもを育てていてよかったと思うこと、子育て費用、就寝時間、習い事等の状況、お手伝い 等

5 調査の方法

調査票の配布及び回収は郵送により行った。

6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は以下のとおりである。

	1月生まれ			7月生まれ			合 計		
	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
第 1 回	26,620	23,423	88.0%	26,955	23,592	87.5%	53,575	47,015	87.8%
第 2 回	23,391	21,923	93.7%	23,575	22,002	93.3%	46,966	43,925	93.5%
第 3 回	23,374	21,365	91.4%	23,523	21,447	91.2%	46,897	42,812	91.3%
第 4 回	22,439	20,699	92.2%	22,398	20,860	93.1%	44,837	41,559	92.7%
第 5 回	21,735	19,824	91.2%	21,824	19,993	91.6%	43,559	39,817	91.4%
第 6 回	21,020	19,154	91.1%	21,167	19,383	91.6%	42,187	38,537	91.3%
第 7 回	20,182	18,304	90.7%	20,416	18,481	90.5%	40,598	36,785	90.6%
第 8 回	19,530	17,978	92.1%	19,731	18,158	92.0%	39,261	36,136	92.0%
第 9 回	18,865	17,480	92.7%	19,067	17,784	93.3%	37,932	35,264	93.0%

7 集計客体数

集計対象の条件	集計客体数
第9回調査の回答を得た者	
総数	(100.0) 35,264
父母と同居	(71.1) 25,088
母のみと同居	(4.8) 1,685
母と祖父母等と同居	(3.1) 1,105
その他(三世代及び上記条件以外のもの)	(20.9) 7,386
	総数
第2回調査から第9回調査まですべての回答を得た者	31,320
第3回調査から第9回調査まですべての回答を得た者	31,614
第7回調査から第9回調査まですべての回答を得た者	33,316
第6回調査と第9回調査の回答を得た者	34,515

8 利用上の注意

(1) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。
 なお、各図表は集計客体が異なるため、脚注にそれぞれ総数を掲載している。

(2) 調査回における対象児の年齢は以下のとおりである。

調査回	対象児の年齢
第1回調査	月齢6か月
第2回調査	1歳6か月
第3回調査	2歳6か月
第4回調査	3歳6か月
第5回調査	4歳6か月
第6回調査	5歳6か月
第7回調査	7歳(小学校1年生)
第8回調査	8歳(小学校2年生)
第9回調査	9歳(小学校3年生)

注：第7回調査(7歳)は、第6回調査(5歳6か月)から1年6か月後に実施した。

結果の概要

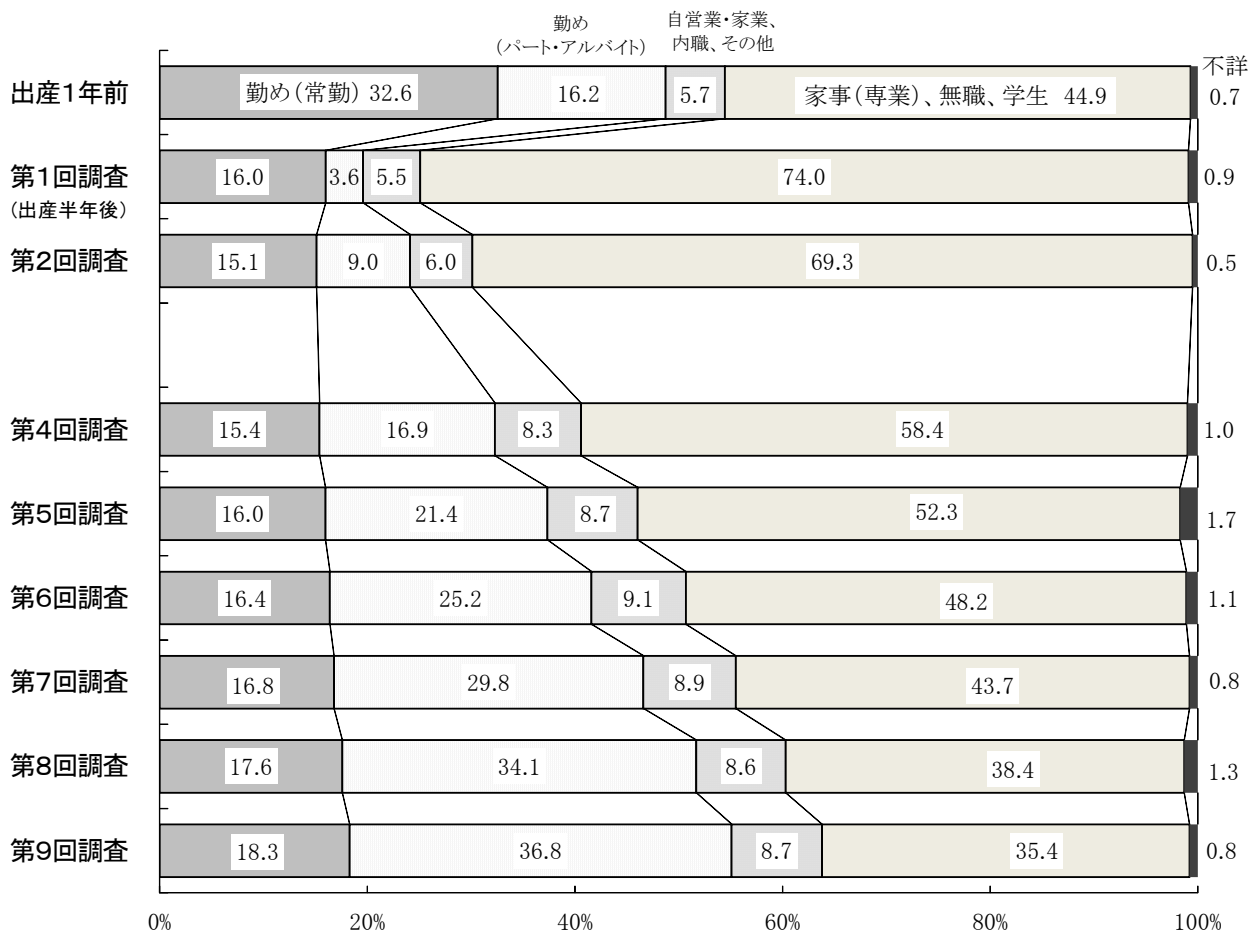
1 対象児の家庭・家族の状況

(1) 母の就業状況

「常勤」の母は変化がなく、「パート・アルバイト」の母は年々増加。

母の就業状況の変化をみると、「パート・アルバイト」は、第1回調査（出産半年後）（3.6%）から第9回調査（36.8%）まで年々増加している。一方、「常勤」の割合は、第1回調査（出産半年後）以降大きな変化はみられず、第9回調査では18.3%となっている。（図1）

図1 母の就業状況



注: 1) 第1回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 31,320)のうち、ずっと「母と同居」の者(総数 30,847)を集計。
 2) 第3回調査は母の就業状況を調査していない。

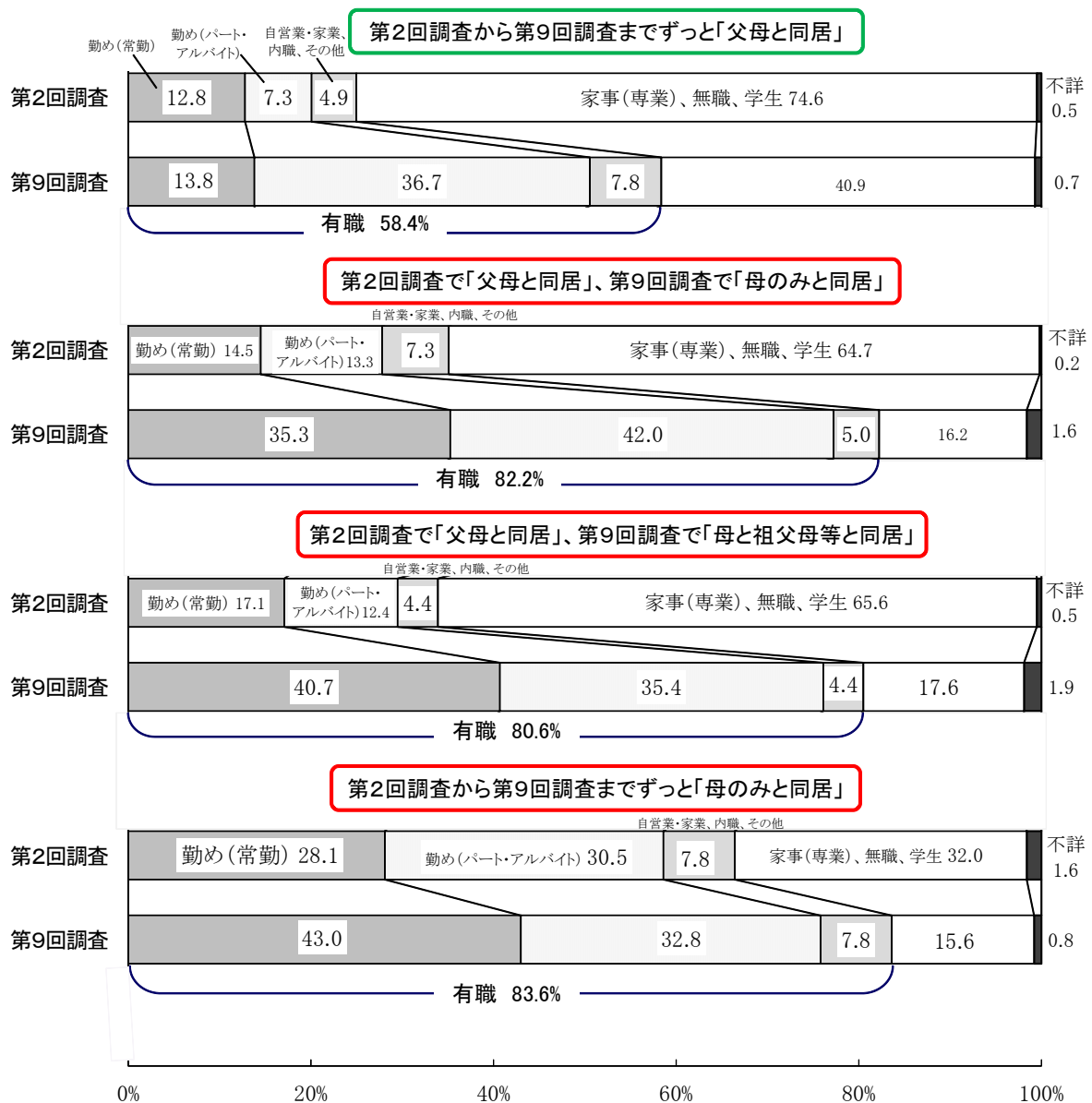
(2) 同居者構成別にみた母の就業状況

対象児の母の「常勤」の割合の変化をみると、第2回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合は12.8%から13.8%と微増。第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると、14.5%から35.3%と大幅に増加。

第2回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別に第9回調査の母の就業状況をみると、第2回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合の「有職」の割合は6割弱であるが、第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると8割を超えている。

さらに「常勤」の割合の変化をみると、第2回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合は12.8%から13.8%とその差は1ポイントと微増であるのに対し、第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると、14.5%から35.3%と大幅に増加している。(図2)

図2 第2回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別にみた母の就業状況



注: 第2回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 31,320)のうち、集計客体は以下のとおりである。

第2回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」の者(総数 19,235)を集計。

第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみ同居」の者(総数 963)を集計。

第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」の者(総数 427)を集計。

第2回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」の者(総数 128)を集計。

(3) 母が子どもと過ごす時間

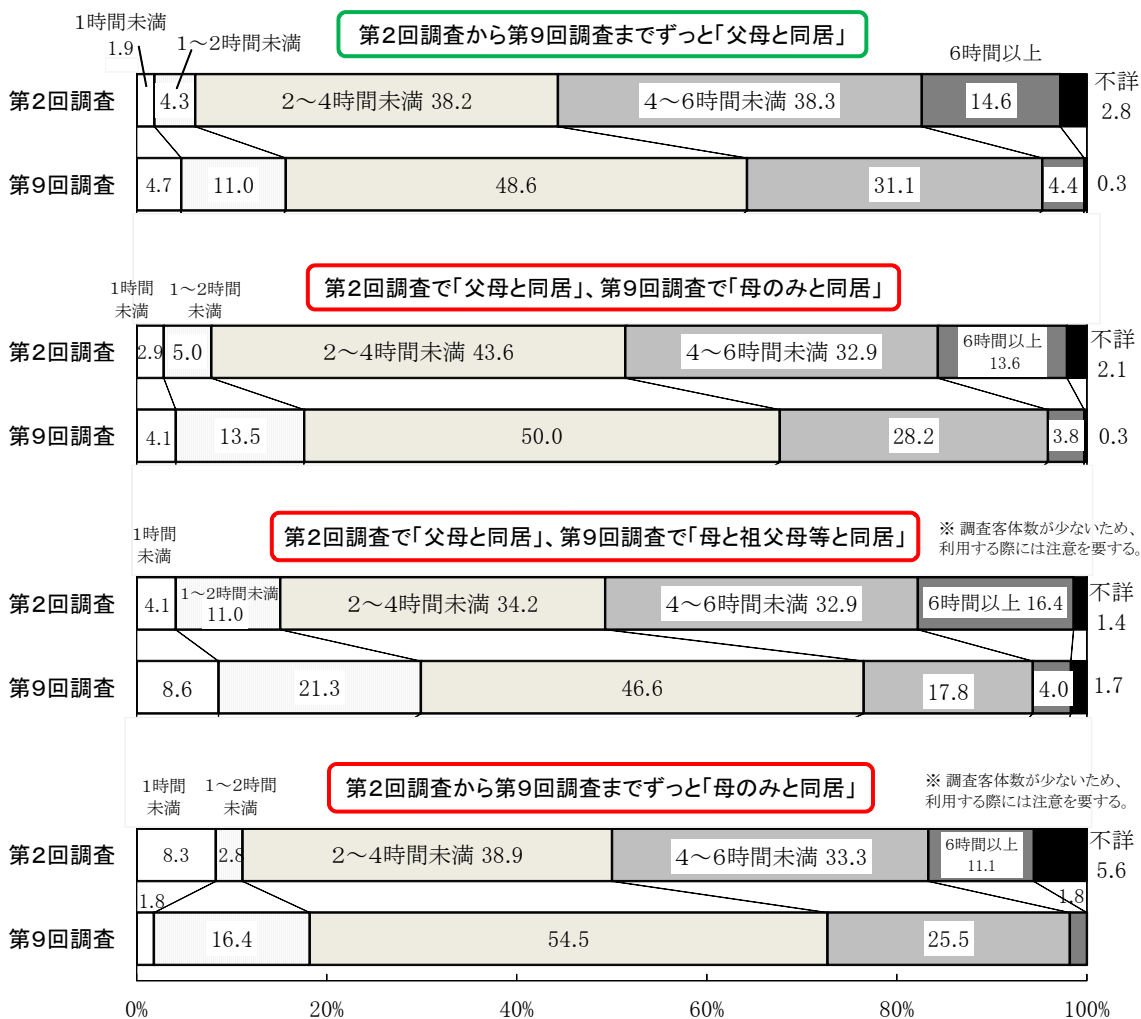
平日に母が対象児と一緒に過ごす時間をみると、「常勤」の方が「パート・アルバイト」に比べて短くなっている。

第2回調査と第9回調査の対象児の母の就業状況、同居者構成別に平日に母と一緒に過ごす時間をみると、「常勤」では第2回調査、第9回調査ともに「2～4時間未満」の割合が多くなっている。一方、「パート・アルバイト」をみると、第2回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」と第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」の場合では第2回調査で「6時間以上」、第9回調査では「4～6時間未満」の割合が多くなっている。「常勤」、「パート・アルバイト」とも同居者構成による大きな違いはみられない。

また、第2回調査、第9回調査ともに「常勤」の方が「パート・アルバイト」に比べて平日に母と一緒に過ごす時間は短くなっている。(図3)

図3 第2回調査と第9回調査の対象児の母の就業状況、同居者構成別にみた平日に母と一緒に過ごす時間

【 常 勤 】



注: 1) 第2回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 31,320)のうち、第2回調査と第9回調査の「常勤」をそれぞれ集計。集計客体は以下のとおりである。

第2回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」の者: 第2回調査(総数 2,466)、第9回調査(総数 2,661)をそれぞれ集計。

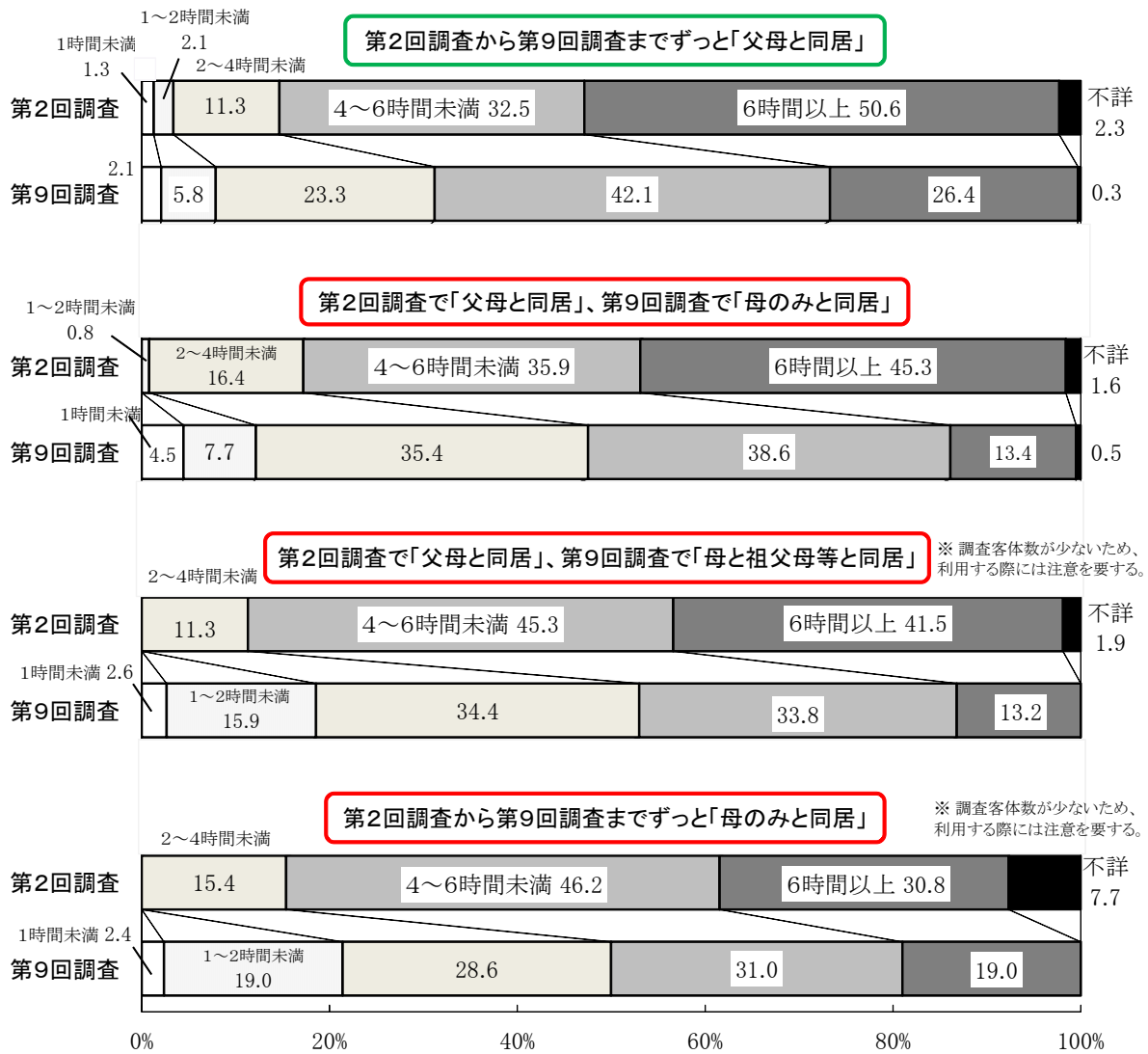
第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」の者: 第2回調査(総数 140)、第9回調査(総数 340)をそれぞれ集計。

第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」の者: 第2回調査(総数 73)、第9回調査(総数 174)をそれぞれ集計。

第2回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」の者: 第2回調査(総数 36)、第9回調査(総数 55)をそれぞれ集計。

2) 「1時間未満」には、母と過ごす時間の「なし」を含む。

【パート・アルバイト】



注: 1) 第2回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 31,320)のうち、第2回調査と第9回調査の「パート・アルバイト」をそれぞれ集計。集計客体は以下のとおりである。

第2回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」の者: 第2回調査(総数 1,402)、第9回調査(総数 7,067)をそれぞれ集計。

第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」の者: 第2回調査(総数 128)、第9回調査(総数 404)をそれぞれ集計。

第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」の者: 第2回調査(総数 53)、第9回調査(総数 151)をそれぞれ集計。

第2回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」の者: 第2回調査(総数 39)、第9回調査(総数 42)をそれぞれ集計。

2) 「1時間未満」には、母と過ごす時間の「なし」を含む。

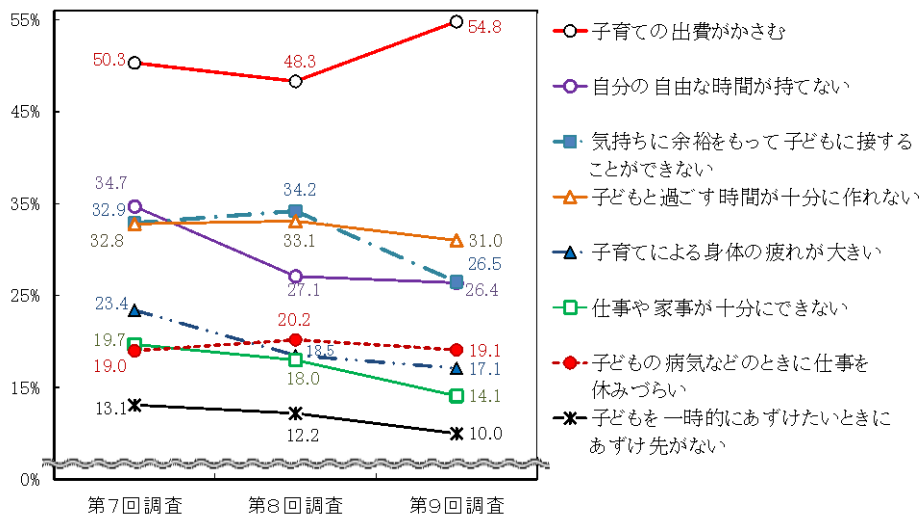
(4) 子どもを育てていて負担に思うことや悩み

「子どもを育てていて負担に思うことや悩み」について、第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」をみると、「子どもと過ごす時間が十分に作れない」、「子どもの病気などのときに仕事を休みづらい」の割合が大幅に増加。

第7回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別に「子どもを育てていて負担に思うことや悩みがある」と回答した者をみると、いずれの同居者構成においても7割を超えている。

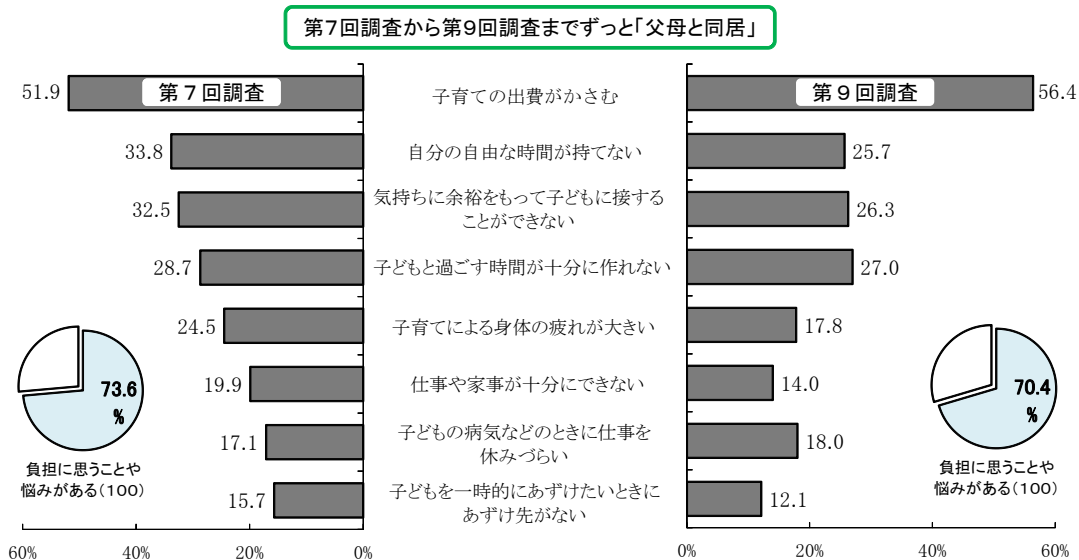
さらに負担に思うことや悩み（複数回答）をみると、「子どもと過ごす時間が十分に作れない」の割合では第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合は28.7%から27.0%と減少しているが、第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると、37.9%から42.8%と大幅に増加している。「子どもの病気などのときに仕事を休みづらい」では第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合は17.1%から18.0%と微増であるのに対し、第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると、23.3%から31.2%と大幅に増加している。（図4-1、図4-2）

図4-1 子どもを育てていて負担に思うことや悩み(上位8項目、複数回答)

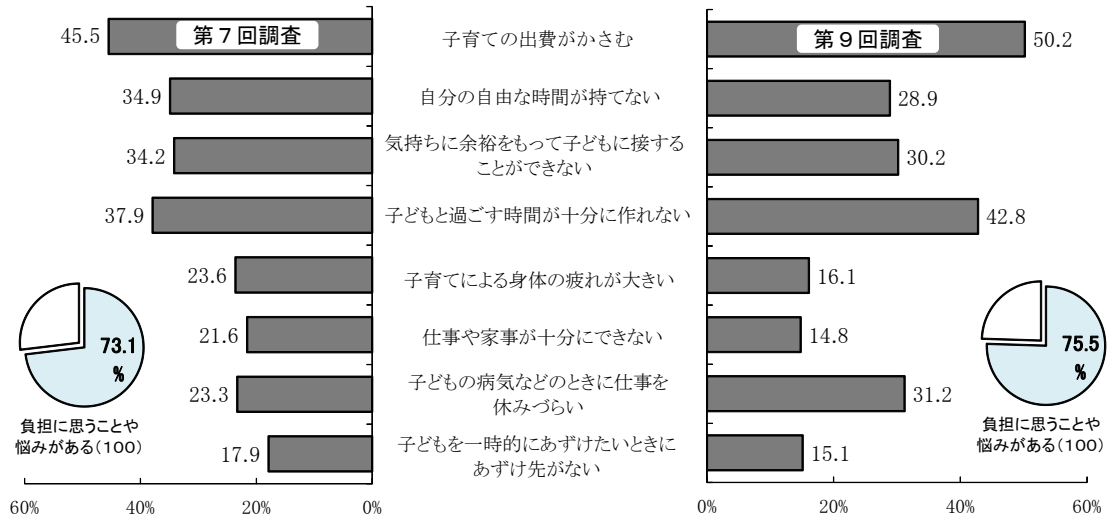


注：第7回調査から第9回調査まですべて回答を得た者（総数33,316）のうち、「子どもを育てていて負担に思うことや悩みがある」者をそれぞれ100として集計。集計客体は以下のとおりである。
第7回調査（総数24,496）、第8回調査（総数22,939）、第9回調査（総数23,380）。

図4-2 第7回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別にみた子どもを育てていて負担に思うことや悩み(上位8項目、複数回答)

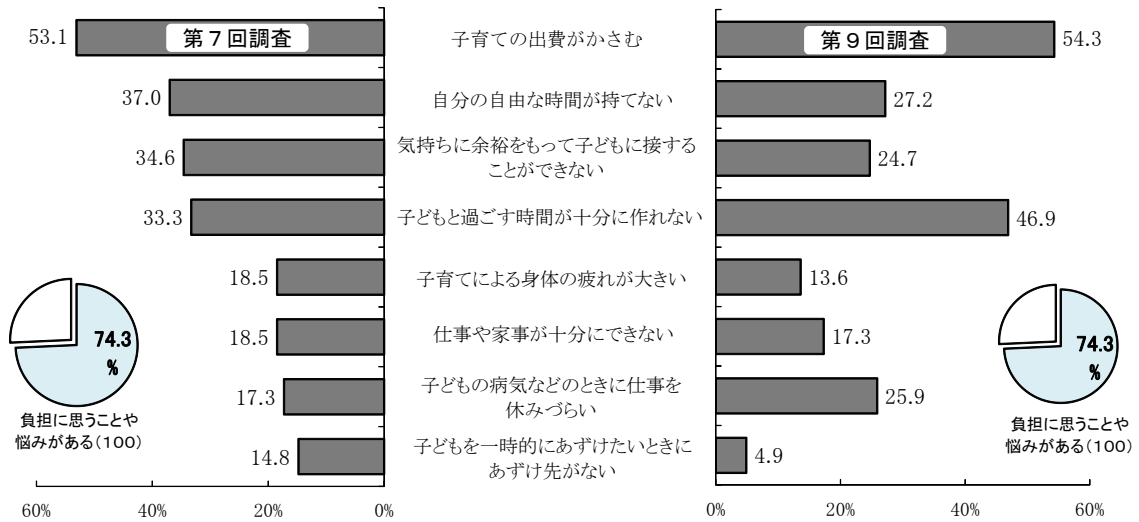


第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」

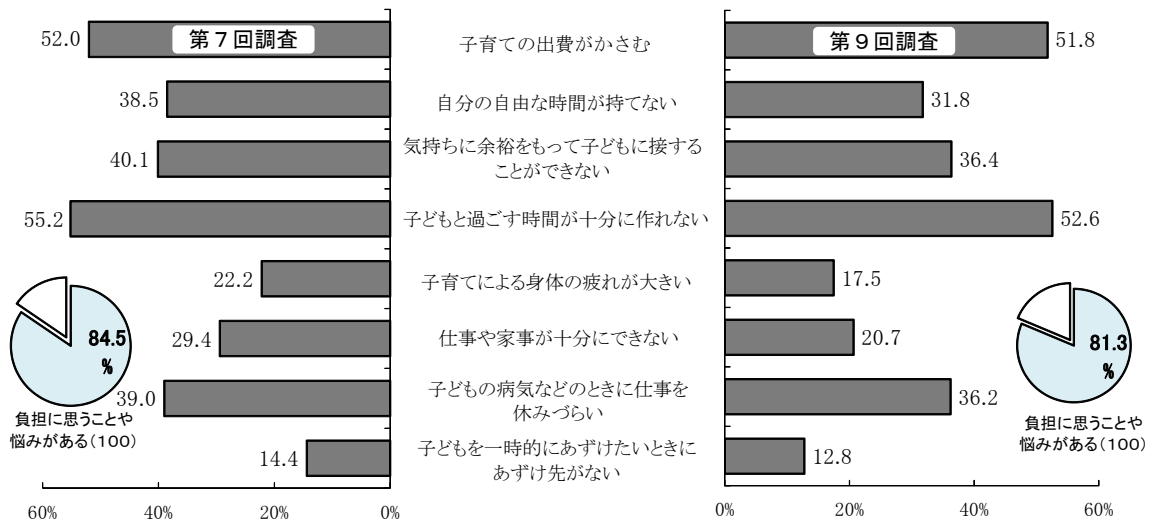


第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」

※ 調査客体数が少ないため、利用するには注意を要する。



第7回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」



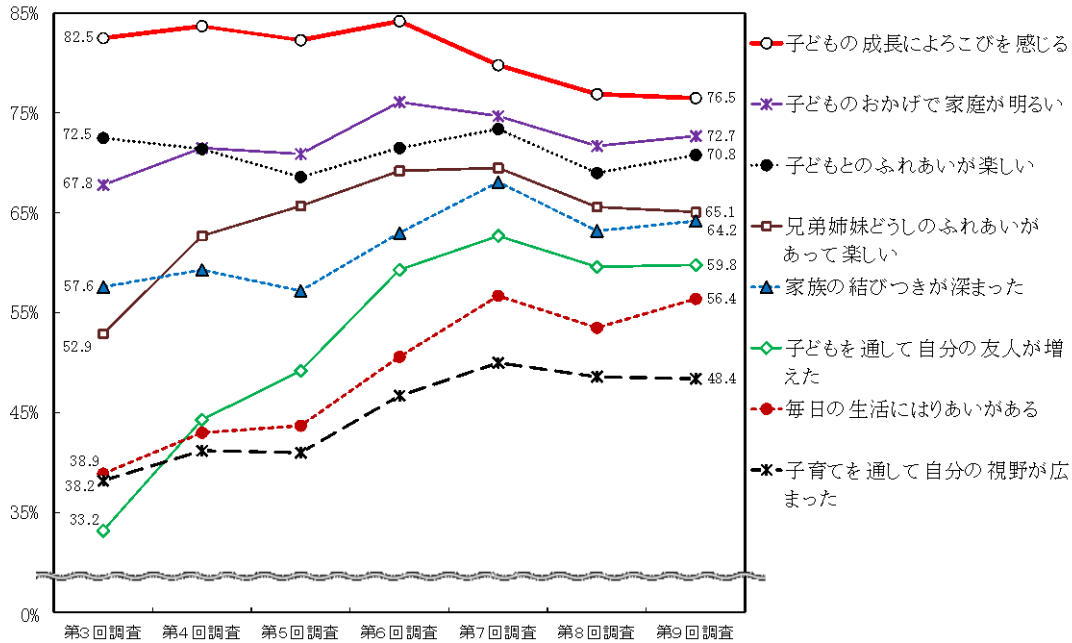
注: 第7回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 33,316)のうち、「子どもを育てていて負担に思うことや悩みがある」者をそれぞれ100として集計。集計客体は以下のとおりである。
 第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」の者(総数 22,638): 第7回調査(総数 16,670)、第9回調査(総数 15,946)。
 第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」の者(総数 412): 第7回調査(総数 301)、第9回調査(総数 311)。
 第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」の者(総数 109): 第7回調査(総数 81)、第9回調査(総数 81)。
 第7回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」の者(総数 964): 第7回調査(総数 815)、第9回調査(総数 784)。

(5) 子どもを育てていてよかったと思うこと

「子どもを育てていてよかったと思うこと」の変化をみると、第9回調査では第3回調査に比べて「子どもを通して自分の友人が増えた」は33.2%から59.8%、「毎日の生活にはりあいがある」は38.9%から56.4%と大幅に増加（図5-1）。

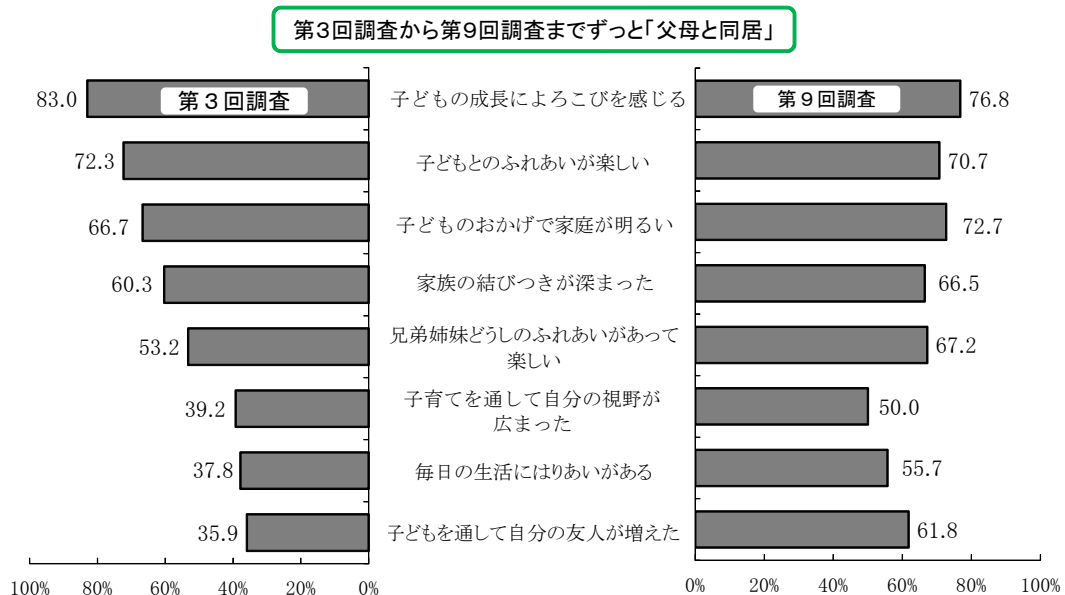
第3回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別に「子どもを育てていてよかったと思うこと（複数回答）をみると、いずれの同居者構成においても第9回調査では第3回調査に比べて「毎日の生活にはりあいがある」、「子どもを通して自分の友人が増えた」をあげる割合が増加している（図5-2）。

図5-1 子どもを育てていてよかったと思うこと（複数回答）

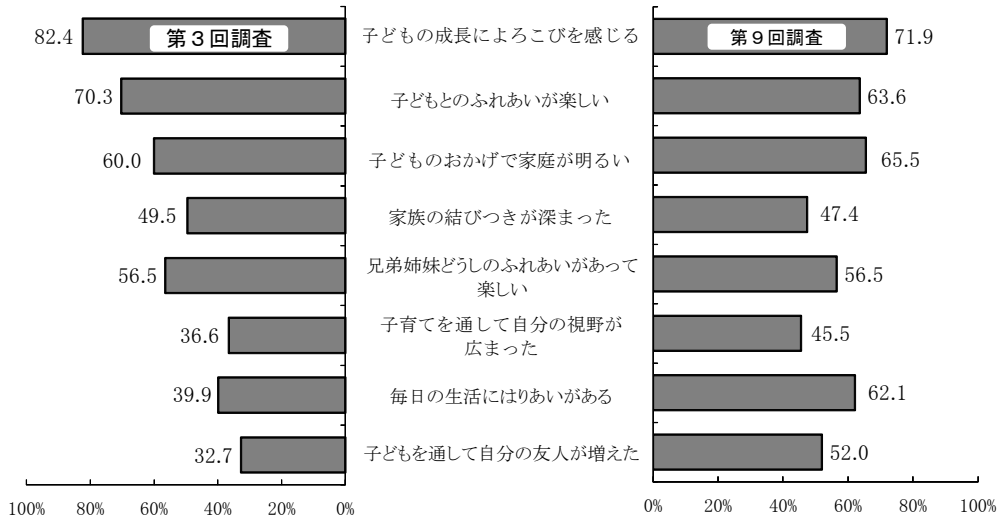


注：第3回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 31,614)のうち、「子どもを育てていてよかったと思うことがある」者をそれぞれ100として集計。集計客体は以下のとおりである。
 第3回調査(総数 31,347)、第4回調査(総数 31,296)、第5回調査(総数 31,338)、第6回調査(総数 31,294)、
 第7回調査(総数 31,336)、第8回調査(総数 31,070)、第9回調査(総数 31,407)。

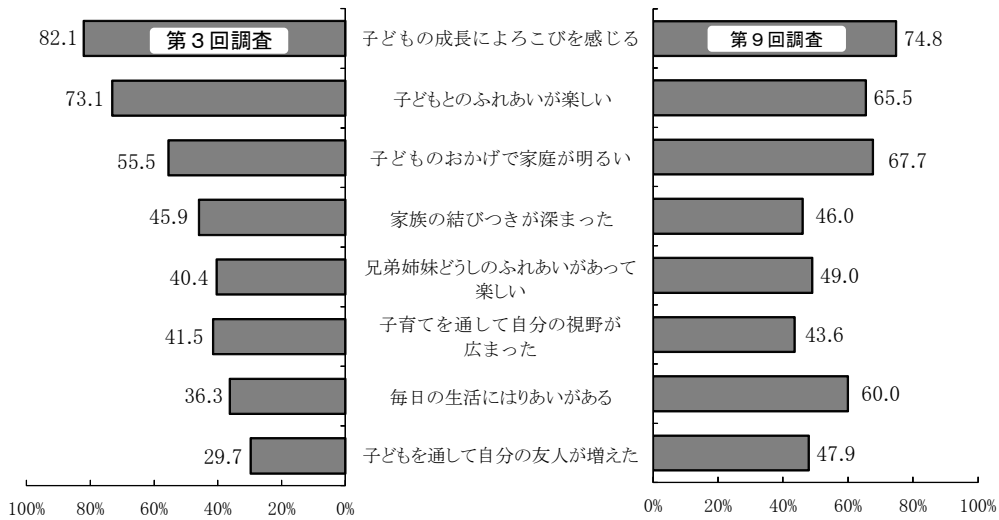
図5-2 第3回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別にみた子どもを育てていてよかったと思うこと（複数回答）



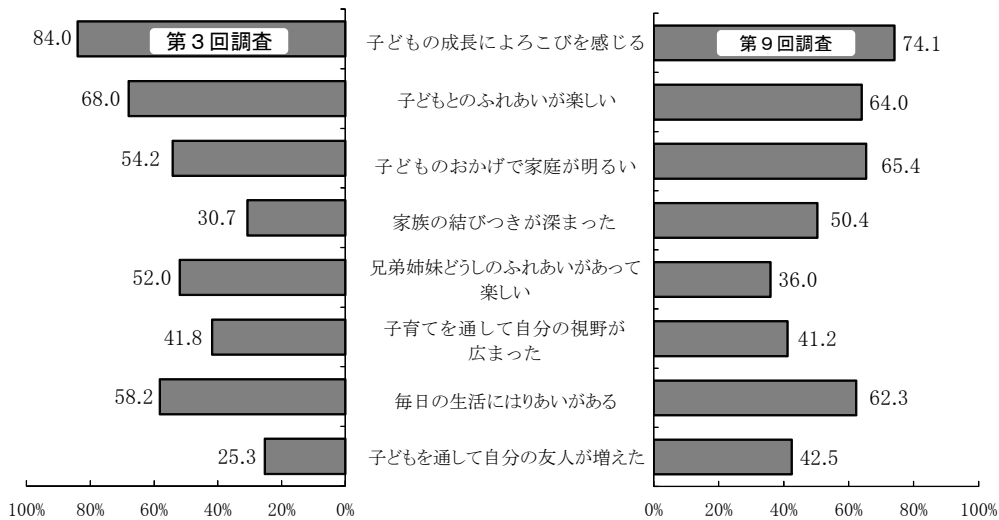
第3回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」



第3回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」



第3回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」



注: 第3回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 31,614)のうち、「子どもを育てていてよかったと思うことがある」者をそれぞれ100として集計。
 集計客体は以下のとおりである。
 第3回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」の者(総数 19,761): 第3回調査(総数 19,607)、第9回調査(総数 19,651)。
 第3回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」の者(総数 884): 第3回調査(総数 874)、第9回調査(総数 873)。
 第3回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」の者(総数 366): 第3回調査(総数 364)、第9回調査(総数 365)。
 第3回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」の者(総数 230): 第3回調査(総数 225)、第9回調査(総数 228)。

(6) 子育て費用

対象児の1か月の平均子育て費用をみると、第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合には第9回調査で3万5千円。第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると3万1千円。

第7回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別に1か月の平均子育て費用の金額をみると、「子育て費用」については第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合には第9回調査で3万5千円、第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると3万1千円となっている。同様に「習い事等の費用」をみると、第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合には1万5千円、第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると1万4千円となっている。(表1)

表1 第7回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別にみた
1か月の平均子育て費用、習い事等の費用

(単位:千円)

	各該当者の平均	
	子育て費用	習い事等の費用
第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」		
第7回調査	34	12
第9回調査	35	15
第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」		
第7回調査	33	12
第9回調査	31	14
第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」		
第7回調査	33	11
第9回調査	30	13
第7回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」		
第7回調査	33	12
第9回調査	33	12

注: 集計客体は第7回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 33,316)のうち、集計客体は以下のとおりである。

「子育て費用」は「不詳」を除く者、習い事等の費用は「費用なし」と「不詳」を除く者をそれぞれ集計。

第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」の者(総数 22,638)を集計。

「子育て費用」: 第7回調査(総数 22,108)、第9回調査(総数 22,472)。

「習い事等」: 第7回調査(総数 17,257)、第9回調査(総数 19,493)。

第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」の者(総数 412)を集計。

「子育て費用」: 第7回調査(総数 401)、第9回調査(総数 406)。

「習い事等」: 第7回調査(総数 282)、第9回調査(総数 282)。

第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」の者(総数 109)を集計。

「子育て費用」: 第7回調査(総数 104)、第9回調査(総数 107)。

「習い事等」: 第7回調査(総数 70)、第9回調査(総数 68)。

※調査客対数が少ないため、利用するには注意を要する。

第7回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」の者(総数 964)を集計。

「子育て費用」: 第7回調査(総数 925)、第9回調査(総数 946)。

「習い事等」: 第7回調査(総数 507)、第9回調査(総数 645)。

2 対象児の生活の状況

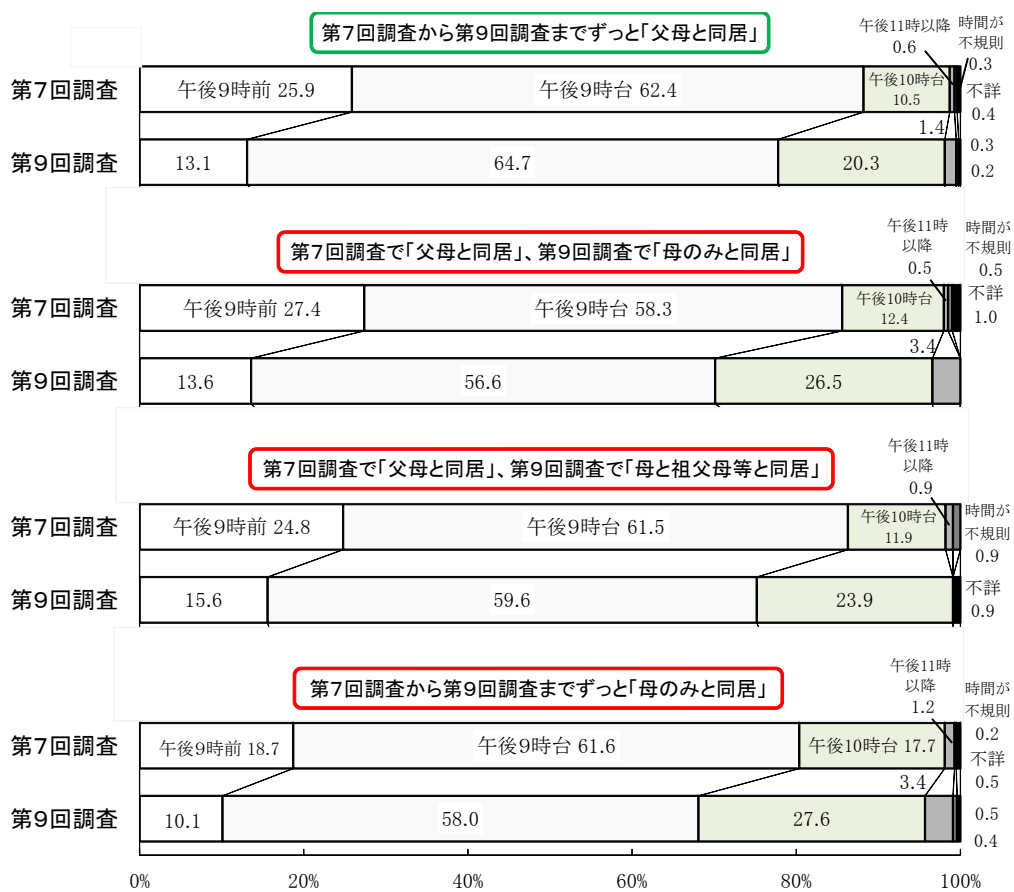
(1) 登校日の就寝時間

対象児の就寝時間の変化をみると、第9回調査の「午後10時台」の割合は、第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」では20.3%であるのに対し、第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると、26.5%と高い。

第7回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別に登校日の就寝時間をみると、いずれの同居者構成においても第7回調査、第9回調査ともに「午後9時台」とする割合が多くなっている。

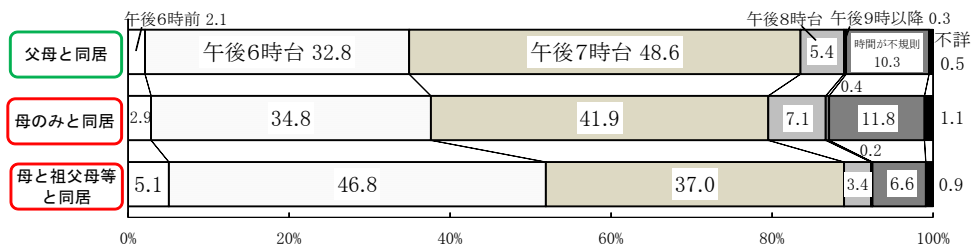
また、第9回調査になるといずれの同居者構成においても就寝時間は遅くなるが、第9回調査の「午後10時台」の割合をみると、第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合は20.3%であるのに対し、第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると、26.5%と高くなっている。(図6)

図6 第7回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別にみた登校日の就寝時間



注: 第7回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 33,316)のうち、集計客体は以下のとおりである。
 第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」の者(総数 22,638)を集計。
 第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみ同居」の者(総数 412)を集計。
 第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」の者(総数 109)を集計。
 第7回調査から第9回調査までずっと「母のみ同居」の者(総数 964)を集計。

(参考) 第9回調査の対象児の同居者構成別にみた夕食の時間



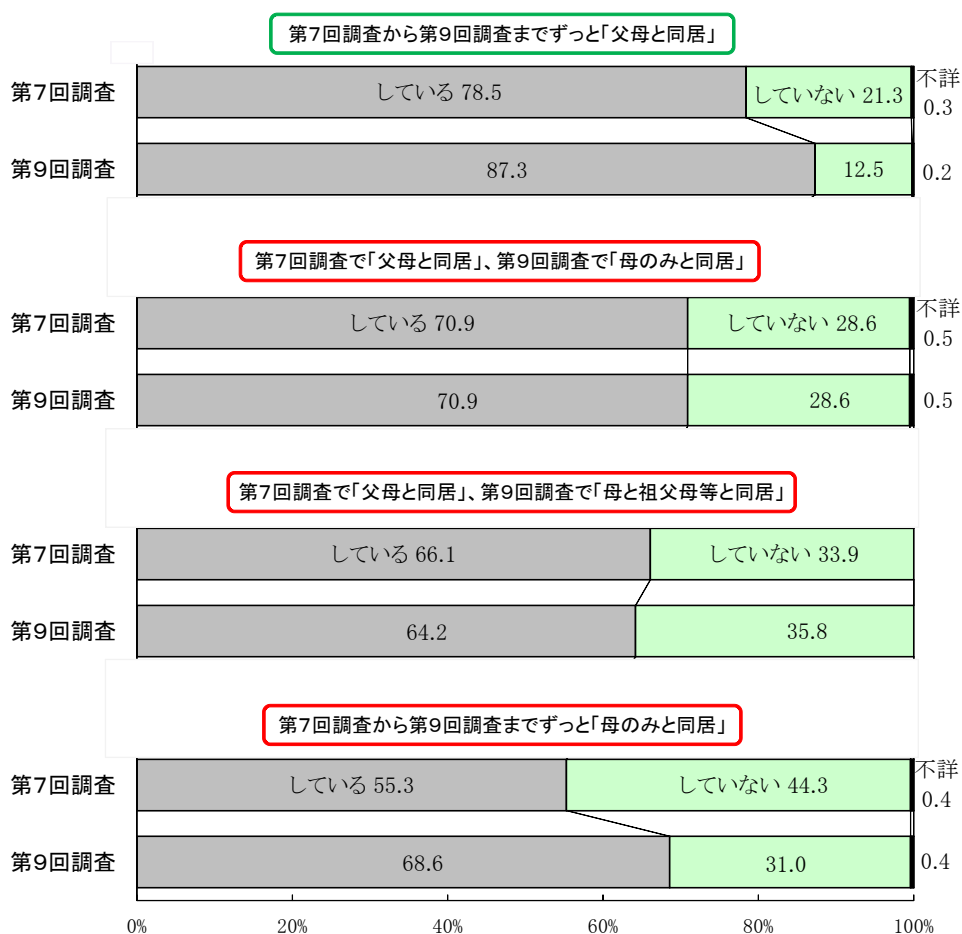
注: 第9回調査の回答を得た者(総数 35,264)のうち、「夕食を食べる」と回答した者(総数 35,178)を集計。集計客体は以下のとおりである。
 「父母と同居」の者(総数 25,028)、「母のみと同居」の者(総数 1,680)、「母と祖父母等と同居」の者(総数 1,104)をそれぞれ集計。

(2) 習い事等

対象児の習い事等の状況をみると、第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合では第9回調査で「している」割合は8割を超える。

第7回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別に習い事等の状況の変化をみると、第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合では習い事等を「している」割合は78.5%から87.3%と増加している。第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると、70.9%と変化がみられない。(図7)

図7 第7回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別にみた習い事等の状況



注: 第7回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 33,316)のうち、集計客体は以下のとおりである。

第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」の者(総数 22,638)を集計。

第7回調査で「父母と同居」の者、第9回調査で「母のみ同居」の(総数 412)を集計。

第7回調査で「父母と同居」の者、第9回調査で「母と祖父母等と同居」の(総数 109)を集計。

第7回調査から第9回調査までずっと「母のみ同居」の者(総数 964)を集計。

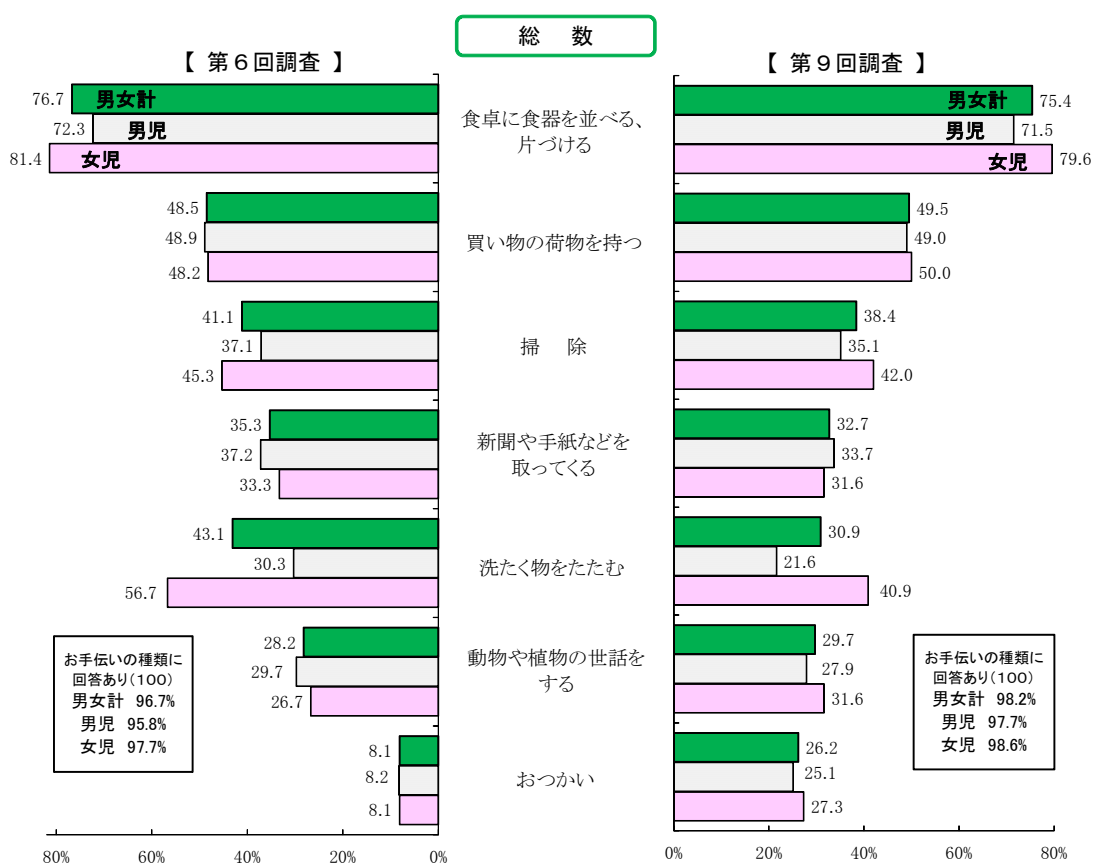
(3) お手伝い

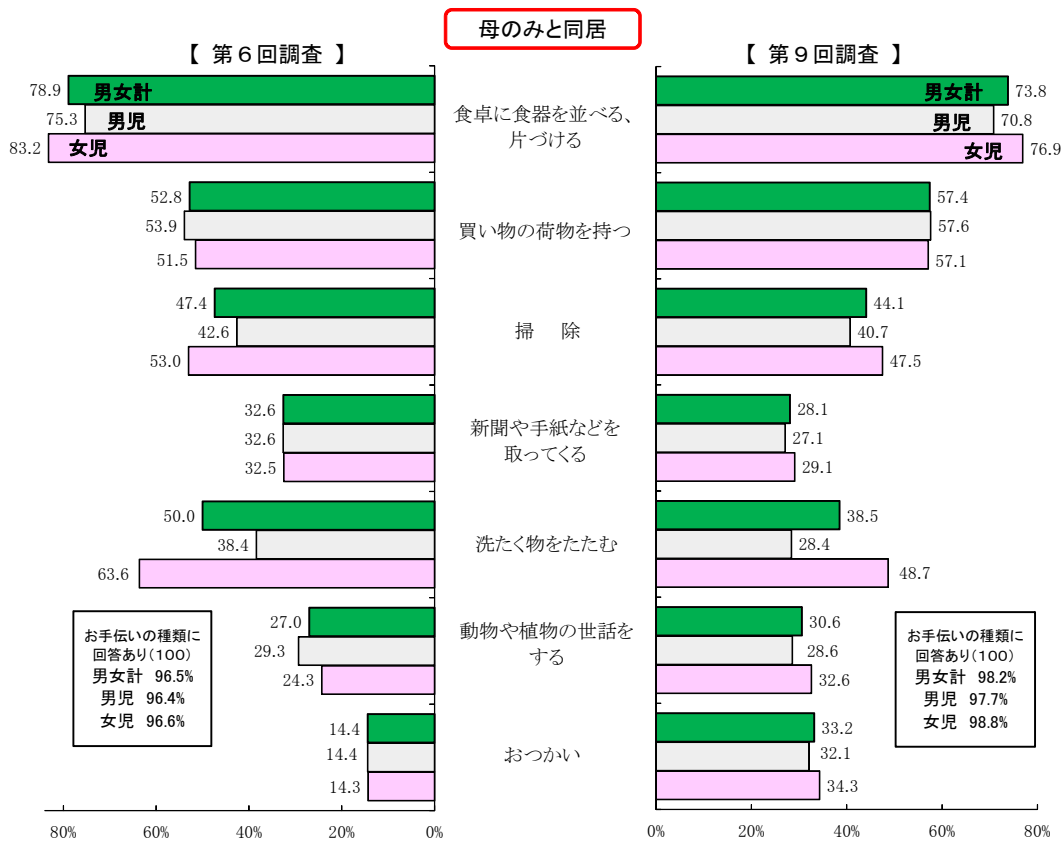
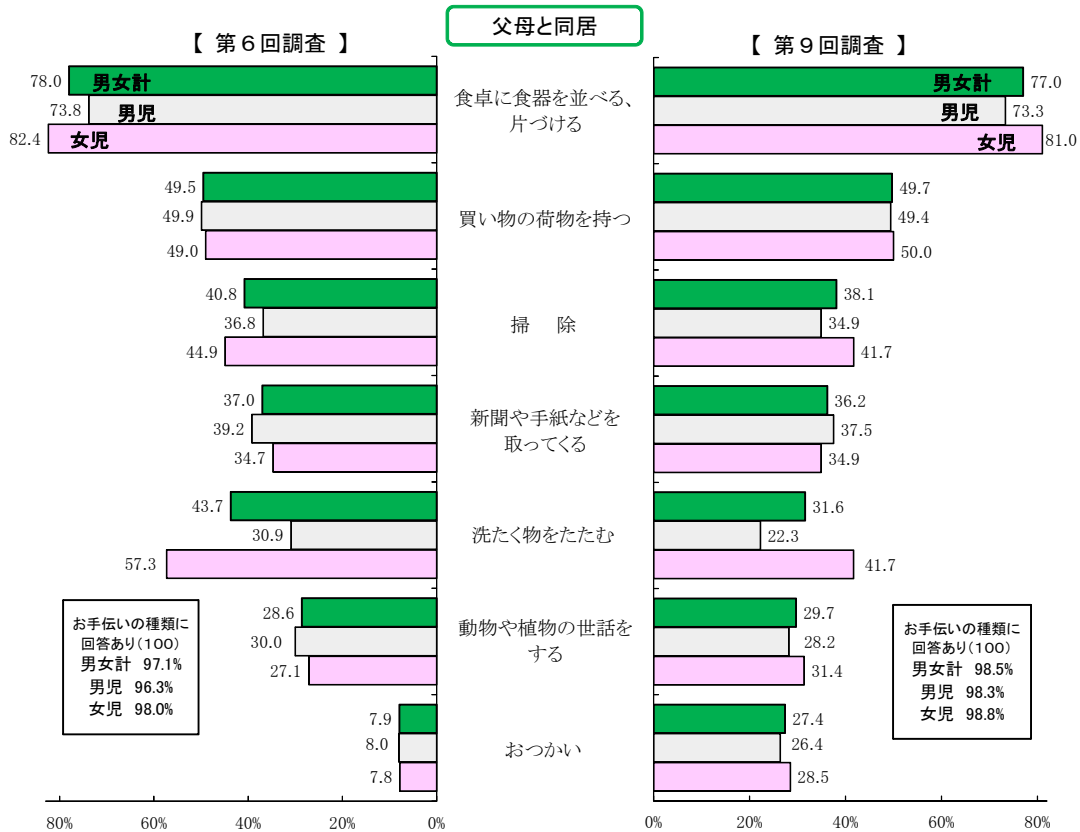
対象児のお手伝いの状況をみると、いずれの同居者構成においても「食卓に食器を並べる、片づける」割合が最も多い。

第6回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別にお手伝いの状況（複数回答）をみると、いずれの同居者構成においても「食卓に食器を並べる、片づける」割合が最も多くなっている。

また、「父母と同居」と「母のみと同居」の割合を比べてみると、第6回調査、第9回調査ともに「買い物の荷物を持つ」、「掃除」、「洗たく物をたたむ」、「おつかい」では「母のみと同居」の方が高くなっている。（図8）

図8 第6回調査と第9回調査の性別、対象児の同居者構成別にみたお手伝いの種類（上位7項目、複数回答）





注:第6回調査と第9回調査の回答を得た者(総数 34,515)のうち、「お手伝いの種類」に回答ありの者をそれぞれ100として集計。

集計客体は以下のとおりである。

- 第6回調査 「総数」の者(男女計 34,515(男児 17,944、女児 16,571)):(男女計 33,385(男児 17,199、女児 16,186))。
「父母と同居」の者(男女計 25,013(男児 12,954、女児 12,059)):(男女計 24,300(男児 12,480、女児 11,820))。
「母のみと同居」の者(男女計 1,097(男児 591、女児 506)):(男女計 1,059(男児 570、女児 489))。
- 第9回調査 「総数」の者(男女計 34,515(男児 17,944、女児 16,571)):(男女計 33,884(男児 17,540、女児 16,344))。
「父母と同居」の者(男女計 24,575(男児 12,784、女児 11,791)):(男女計 24,209(男児 12,561、女児 11,648))。
「母のみと同居」の者(男女計 1,631(男児 823、女児 808)):(男女計 1,602(男児 804、女児 798))。

用語の定義

(1) 同居者の構成

父母と同居	調査対象児＋父母＋兄弟姉妹
母のみと同居	調査対象児＋母＋兄弟姉妹
母と祖父母等と同居	調査対象児＋母＋兄弟姉妹＋祖父母＋祖父母以外の同居者

※同居者には以下のものは含まない。

①長期（概ね3か月以上）にわたって不在にしている者。

②現在不在で不在期間が長期にわたることがわかっている者。

ただし、①、②の者で途中定期的に帰宅する者は同居としている。

(2) 子育て費用とは、学校にかかった費用、習い事等の費用、学童保育料、医療費、食費、衣料費などの合計をいう。

1月生まれの調査対象児の場合は平成21年12月の1か月間、7月生まれの調査対象児の場合は平成22年6月の1か月間に、調査対象児にかかった費用。

(3) 習い事等とは、音楽(ピアノなど)、習字、英会話、水泳、サッカー、バレエ・ダンス、学習塾、通信教育などをいう。